

試み足す | 心満たす

こころみたす

大牟田体験プログラム

試みて、心満たす



Omuta

試みて、心満たす

心が動いたら、やってみよう。

日常に「試み」を足してみよう。

ささやかな挑戦に見えてもそれは

喜びと感動、幸せとすてきな出会いを連れてくる。

心満たす体験が、ここであなたを待っています。

こころみ 1 歴史を歩く

- 歴史と文化をたどる 三池まち歩き
- 三井化学大牟田工場見学ツアー

こころみ 2 日本刀の心にふれる

- 鋼を打つ音・熱を体感／刀匠に教わる包丁制作
- 槌打ちして作る／日本刀風ペーパーナイフ
- 言霊を刻む／銘切体験
- 刀の誕生を目の前に／日本刀古式鍛錬・鍛錬場見学
- 刀のかけらでペンダント作り

こころみ 3 大牟田と日本の文化を楽しむ

- お寺で写仏
- 気軽に楽しむ押し花アート
- 癒やしのカフェで体験教室
- 知って・作って楽しむお寿司
- 着物衣装撮影

【ちょっとディープにこころみ】

- 夜の大牟田まち歩き

※このプログラムは2025年3月現在のものです。
料金、内容は変更になることがあります。

Walking around the city

【大牟田観光プラザ(受付)】

JR大牟田駅を出てすぐ。大牟田市の観光情報を提供するほか、地域物産品の販売も。



【三池典太屋敷跡】

三池典太が作刀に勤んでいたと伝わる場所。かつては鍛冶に用いた炉やふいごの跡があり、不思議な言い伝えが残っています。現在は残念ながら当時の痕跡はありませんが、耳をすませば槌の音が聞こえてくるかも…?



03

三池まち歩き

平安から江戸へ歴史と文化をたどる

「炭鉱のまち」「近代化遺産のまち」として知られるこの地にも、ずっと遠い昔から人々の営みがあり、今へとつながっています。「三池」の名の由来、刀剣の歴史、武士たちの歴史、受け継がれる祈り。刀剣と歴史の専門家と一緒に三池を歩きながら、その歴史と文化をたどってみませんか。

【早高宮・高田行宮址】

日本書紀に登場する景行天皇を含む三柱の神をまつる早高宮。景行天皇は熊襲討伐のため九州を巡ったとされ、立ち寄った多くの土地に地名の由来となる伝説が残されています。そのひとつ、「三池」よりもっと前の古い地名「御木の国」のいわれを今に伝えています。



【三池新町彌劔神社】

毎年7月の「おおむた大蛇山まつり」で山車が奉納される祇園六山のひとつ。地域の人からは「田町の祇園さん」と親しまれています。境内にはとても小さな鳥居があり、通り抜けられるとご利益があるとか。



【陣屋眼鏡橋】

かつてはこの橋の先に三池藩の陣屋がありました。陣屋とは藩庁が置かれた屋敷のこと。幕末の三池藩主・立花種恭によって陣屋が再建された際に、地域の人々の尽力によって橋が建造されました。



【日本刀鑑賞会】

まち歩きの最後は「カルタックス大牟田」で日本刀鑑賞会。今回の案内役・山田元樹氏に教わりながら日本刀を鑑賞します。ガラスケース越しでは分かりづらい見どころがたっぷり。日本刀の美をご堪能あれ。



【壽光寺】

江戸中期には学問所が寺内に建てられるなど、藩内でも重要な役割を果たしていた寺院。山門は明治になって三池藩陣屋の正門を移築したものです。



【三池藩陣屋跡】

三池藩陣屋があった場所は現在小学校になっていますが、今も残る大手門の石段には島原の乱へ出陣した際の興味深い逸話も。



私がお案内します モデルコース



ガイドは山田元樹氏
大牟田市立図書館 館長
刀剣等指導補助員

大牟田観光プラザ(受付) ▶ 三池典太屋敷跡 ▶ 早高宮 ▶ 高田行宮址記念碑 ▶ 三池新町彌劔神社 ▶ 壽光寺 ▶ 陣屋眼鏡橋 ▶ 三池藩陣屋跡 ▶ 日本刀鑑賞会 ▶ JR大牟田駅前で解散

日程/2025年11月~2026年2月予定(複数回開催)
時間/12:30~16:00
集合場所/大牟田観光プラザ(JR大牟田駅東口)
参加費/4,000円 定員/10人(最少催行人員3人)
◆開催日・詳細は開催の3か月前にXで告知
X公式アカウント: @katanatabimiike
問い合わせ/☎0944-55-4504(大牟田市立図書館)



「筑後国三池」

「かたな」の一里

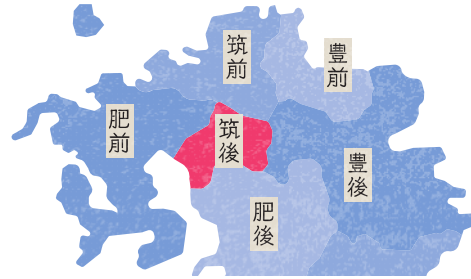
今から千年余り前のこと、大牟田市一帯が「筑後国三池」と呼ばれていた頃。三池典太光世に始まる三池派の刀工たちは、代々三池典太（伝太、伝多とも）を名乗り平安時代後期から室町時代まで約500年にわたり数々の名刀を作りました。

国宝 太刀 銘 光世作（号 大典太）
前田育徳会蔵



◆「筑後国三池」とは

三池派がいた頃の筑後国とは福岡県南部一帯に相当し、三池は筑後国の郡（行政区）の一つで、現在の太宰府市全域とみやま市の一部を含む地域でした。この地域では多くの製鉄遺跡（三池山、小袋山など）や鍛冶屋跡（上内地区）が発見され、往時の刀工たちの活躍を物語っています。



◆名刀と伝説を残した三池典太光世

名物「大典太」を生み出した初代三池典太光世が活躍したのは、平安時代後期（1070～80年代）と考えられています。彼についての確かな記録は発見されていませんが、大牟田には光世の屋敷跡や墓碑などが言い伝えによって今に残されています。

◆大典太光世

「天下五剣」に数えられ、足利将軍家から豊臣秀吉、前田利家へと伝わった国宝・大典太。初代三池典太光世の作とされる唯一の在銘刀です。身幅が広く手元で大きく反り、棟は丸みを帯び（丸棟）、切先は短く詰まった「猪首切先」。表裏には幅が広く底の浅い棒樋を巧みに掻き流し、表の平地に腰樋が彫られています。茎には「光世作」の銘。同時代の刀とは大きく異なる豪壮な姿で、強い霊力を持つと信じられていました。

日本刀は聞きなれない言葉や決まりごとが多い世界。少しでも知っておくと、鑑賞するときにより深く楽しめます。ここでその一部をご紹介します。

【日本刀の種類】

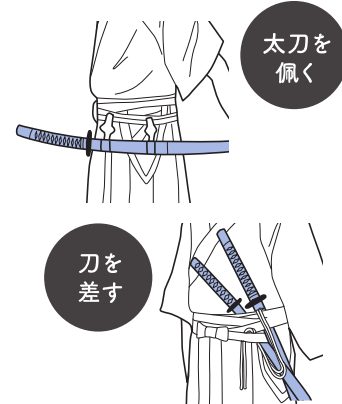
日本刀は長さで種類が分けられます。

- 太刀・刀：刃長60cm以上
- 脇差：刃長30～60cm
- 短刀：刃長30cm未満

【太刀と刀の違い】

日本刀は時代の流れと共に太刀から刀（打刀）へと変わっていきました。大きく変化したのは刀身の反りの深さです。鎌倉時代の騎馬武者が用いた太刀は、手元近くで深く反っています。時代が下り、馬を降りた近接戦が主流になると、切先の方で浅く反った刀が用いられるようになりました。

太刀と刀（打刀）を見分ける方法の一つが、帯刀の様式です。太刀は刃を下にして左の腰に「佩（は）く」。刀は刃を上にして左の帯に「差す」のが基本です。刀が展示されるとき、多くの場合は帯刀したときの表側が見えるように設置するため、太刀は刃の向きが下向き、刀は上向きになります。



【刀身各部の名称】

鋒／切先（きっさき）

刀身の先端部分。鋒の刃文は「帽子」と呼びます。鋒の大きさ、幅、長さによって小鋒・中鋒・大鋒があり、中鋒です詰まりになったものを「猪首鋒（いくびきさき）」と呼びます。

棟（むね）

刀身の、刃がついていない側の背。峯・峰ともいいます。形状は庵棟・三ツ棟・丸棟があります。

刃長（はちょう）

棟区と鋒を結んだ直線の長さ。

地（じ）

鎧筋から刃先にかけての平らかな部分。地鉄（じがね）の鑑賞は主にここを見ます。地には、折り返し鍛錬によってあらわれる鍛肌（きたえはだ）に、焼き入れによる鉄の状態変化が合わさり模様が生まれます。模様は木板に例えた柵目（もくめ）・板目・柁目（まさめ）の他、梨地（なしじ）、綾杉など多彩な種類があります。これが明確に見える様子を「立つ」、肉眼で見えにくいほど細かい様子を「つむ」といいます。

棟区（むねまち）

棟と茎の境目。

茎（なかご）

柄に入る部分。研磨されず鍔（やすり）を施します。

錆（しのぎ）

刀の中心部からやや棟よりに刀身を貫いて走る線状の筋。棟と刃の間を山形にすることで生まれる模様。

反り（そり）

棟区から鋒を結ぶ直線と、棟と刃の間のもっとも長い距離。

刃文（はもん）

焼き入れによって生まれる焼き刃部分の模様。大きくは直刃（すくは）と乱刃（みだれば）に分けられます。乱刃には互目（ぐのめ）・丁子・湾（のた）れなど多様な種類があります。刃文の中に沸（にえ）や足、金筋などと呼ばれる粒子があらわれる現象を働（はたらき）といいます。刀匠の個性が最もあらわれる、大きな見どころです。

刃区（はまち）

刃と茎の境目。

目釘孔（めくぎあな）

目釘を通して刀身を柄に固定します。

茎尻（なかごじり）

刀身の末端、茎の先端の形状。栗尻・切・剣形・入山などがあります。



刀鍛冶の技を追体験

大牟田では今も刀が作られています。
柳河藩御番鍛冶・信濃守武藤久廣の系譜に連なる
四郎國光一門の創業は1786年。

現在は大牟田市倉永の工房に4人の刀匠と1人の美術刀研磨師が在籍し、
その作品は全国規模の展覧会で数々の賞を獲得。
作刀に励む傍ら、刀剣文化の普及にも務めています。

鋼を打つ音・熱を体感

【刀匠に教わる包丁制作】

「四郎國光」の工房で刀匠に教わりながら包丁を制作。日本刀の製造技術から確立された伝統的な「打ち刃物」の製法で作ります。素材を炉で熱し、槌でたたいて伸ばし、「焼き入れ」で急冷して強度を高め、研ぎへ。形を整え、鑿(たがね)で「銘切り」します。この工程、実は日本刀とほぼ同じ。炉の熱や鋼を打つ音を体感しながら、作刀の技を垣間見ることができます。

包丁づくり

所要時間/5時間程度(休憩含む)
料金/月~土曜33,000円、日曜・祝日44,000円
定員/3人(最少催行人員2人)
対象/中学生以上



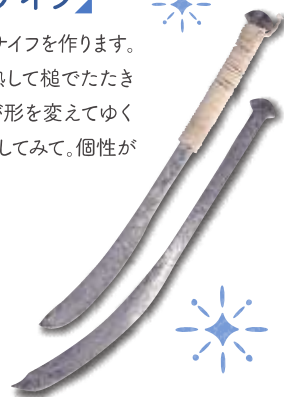
槌打ちして作る

【日本刀風ペーパーナイフ】

刀匠の指導のもと、ペーパーナイフを作ります。長さ約15cmの五寸釘を熱して槌でたたき伸ばし、形を整えていきます。鉄が形を変えてゆく鍛冶の面白さ、難しさをぜひ体験してみてください。個性が現れる仕上がりも楽しみに。

ペーパーナイフづくり

所要時間/1時間程度
料金/月~土曜5,500円、
日曜・祝日7,150円
定員/10人(最少催行人員2人)
対象/小学生以上



言霊を刻む

【銘切体験】

刀 剣の茎(なかご)に文字を刻む「銘切」を疑似体験。真鍮製のプレートに鑿で文字を刻みます。言葉には霊力(言霊)が宿ると日本では古くから信じられています。刻み込まれた名前や言葉をお守りにしてはいかがでしょうか？

銘切体験

所要時間/1時間程度
料金/月~土曜2,200円、日曜・祝日3,300円
定員/10人(最少催行人員2人)
対象/小学生以上



舞い上がる炎と火花、刀の誕生を目の前に

【日本刀古式鍛錬/鍛錬場見学】

日本刀の鍛錬や焼き入れの様子を見学できます。平安の昔から変わらない、激しく舞い上がる炎、槌の音、飛び散る火花。玉鋼から刀が生まれる様は圧巻です。鍛錬の際は槌を打たせてもらえるのでぜひ挑戦を。実際に使う道具を見たり触れたりしながら日本刀ができるまでを刀匠から聞けるのも魅力。また、鍛錬場の見学のみも可能です。



日本刀古式鍛錬見学

所要時間/2時間程度
料金/165,000円
※人数により1回開催につき
定員/50人(最少催行人員1人)
対象/中学生以上

鍛錬場見学(火おこし・鍛錬の実演はありません)

所要時間/1時間程度
料金/月~土曜3,300円、日曜・祝日4,400円
定員/10人(最少催行人員2人)
※場合により1人での申し込みも可(追加料金が発生します)
対象/小学生以上

申し込みはココ/

場所/四郎國光(大牟田市倉永105-1)
日程/通年(第3火・水・木曜は休み)
予約/1週間前まで
詳細・申し込み/
☎0944-58-1340または2次元コードから





アクセサリで楽しむ
おおむた刀剣文化

JR 大牟田駅前にたたずむハンドメイド雑貨と
占いの店「Noir Parfum(ノール・パルファン)」。
店内には店主・サカモトさんが出会った作家たちによる
アクセサリや小物、焼き物が並んでいます。

サカモトさんは大牟田の刀剣の歴史に触れ、大牟田
を訪れる人や地域の人にもこの文化により親しんで
ほしいと、日本刀製造の際に生じる鉄肌(かなはだ)
などを使ったアクセサリを考案しました。鉄肌とは、
鍛錬で飛び散る玉鋼のかけら。四郎國光の工房から
提供されたものです。それらをベースとなるチャームに
レイアウトし、レジンで固めて作ります。

日本刀は武器であると同時に、古来より霊力が
宿る神聖なものとされてきました。かけらは製造の工程
によって形状や質感が変わるので、それぞれに健康、
恋愛などの御利益になぞらえて用意されています。
“刀のかけら”を自ら散りばめて作るチャームは、すてきな
お守りになってくれそうです。



刀のかけらでペンダントづくり

場所/Noir Parfum(大牟田市不知火町1-2-21)
日程/通年
所要時間/1時間程度
料金/1個2,000円
定員/5人(最少催行人員1人)
対象/小学生以上(小学生は保護者同伴)
予約/3日前まで
詳細・申し込み/2次元コードから



心静めて
仏と向き合う
穏やかな時

住職との話し合い
癒やされて



通玄寺住職 金子衛三さん



創 建は1706年、三池藩立花氏にゆかりある黄檗
(おうぼく)宗宇治山通玄寺。宗旨宗派を問わず
門戸を開き、いつも人々の笑顔があふれ、地域に
親しまれているお寺です。

通玄寺住職・金子衛三さんによると「写仏」の歴史
は古く、一説には文字が読めない人たちのために、
図や形によって仏の世界を伝える手法のひとつとして
広まったといわれるそうです。絵図の上に薄い紙を重ね、
細い筆で写し描きするのが一般的ですが、今回は薄い
線で描かれた下絵を筆ペンやサインペンでなぞる
スタイル。筆を使い慣れない人でも取り組みやすい
ように、住職と奥様が考えてくださいました。

「何にもとらわれず、偏りのない生き方を仏教では
中道といいます。写仏は、余計なことを考えず、心の
もやを取り払って“無心”になる行い。中道へ近づいたため
の行(ぎょう)なのです」と住職。静かなお堂でひたすら
仏と向き合う時間。描き終えたときにどんな心境が
待っているのか、ぜひ体感してください。



お寺で写仏

場所/宇治山通玄寺(大牟田市吉野673)
日程/通年(お盆期間、年末年始は除く)
所要時間/2時間程度
料金/4,000円

※描いた仏画は御朱印を押印の上、お持ち帰りいただけます。
希望によりお守り袋に収めて持ち帰ることもできます(料金別途)。

定員/10人(最少催行人員1人)
対象/小学生以上
予約/随時お問い合わせください
詳細・申し込み/☎0944-31-5776

三井化学大牟田工場 見学ツアー



まちがいの異空間へようこそ

石 炭から石油へ、そして持続可能な社会へ。三井化学大牟田工場は、移り変わる時代と共に事業のかたちを変えながら、110年余りの歴史を歩み続けています。現在は世界トップシェアを誇る高屈折率眼鏡レンズの原料、地球環境に優しい農薬、多様な製品に使われるウレタンが生産の三本柱。工場の製品は意外にも私たちの身近に存在しています。

この見学ツアーは、工場に勤務する有志が集まり、「より親しまれ、愛される工場に」との思いを込めて企画されました。専用車に乗り、工場内部の映像を見ながら広大な敷地を巡ります。鉱山の名残をとどめる起伏に富んだ道を進むと、巨大なプラント群が目の前に。途中フォトスポットがあり、車を降りて撮影することができます。三井化学の先進の化学技術を体感できるコーナーや、うれしいお土産も用意されているのでお楽しみに。



企画したメンバーの皆さん



三井化学大牟田工場 見学ツアー

場所／三井化学大牟田工場(大牟田市浅牟田町30)
 日程／2025年8月開始 以降は月1回開催予定
 時間／14:00～(所要時間2時間程度)
 定員／6人(最少催行人員1人)
 ※申し込み人数は1組2人まで
 対象／中学生以上
 日程、申し込みは2次元コードから確認を
 ◆このプログラムは三井化学の社会貢献活動の一環として無料で実施されます。



気軽に楽しむ 押し花アートの世界



大 牟田市出身のアーティスト・杉野宣雄さんとその父・杉野俊幸さんが歳月をかけて独自の技術を確認した「押し花アート」。植物が持つ色彩と形を鮮やかに残したまま乾燥させ、再構成する手法は、国内のみならず世界各国で称賛されています。東京オリンピックではメダリストに贈られるブーケを押し花にした作品が話題に。生き生きとした草花の姿、そのときの思い出や感動も表現する押し花アートに魅せられ、「大牟田押し花の会」が開く教室では多くの人が制作を楽しんでいます。

押し花文化のふるさと・大牟田で、その魅力に触れてみては。用意された色とりどりの押し花を、思うままレイアウトしてみましょう。作品は押し花額絵のほかキーホルダーやストラップも選択可能。プログラムを体験して押し花アートの世界をより深く知りたいと思ったら、ぜひ教室へ。



鮮やかな花の思い出



気軽に楽しむ押し花アート

場所／応相談(大牟田市内の施設)
 日程／通年(除外日あり)
 所要時間／1時間程度
 料金／1,000円
 材料費別途必要:4,180円(21×17cmの押し花額絵)～
 ※料金は作品により異なります。詳しくはお問い合わせを
 ※会場使用料が別途必要な場合があります
 定員／10人(最少催行人員1人)
 対象／小学生以上(小学生は保護者同伴)
 予約／10日前まで
 詳細・申し込み／☎090-2580-8126(大牟田押し花の会)



ほっと
一息

癒やしのカフェで 体験教室

カフェ「Viridian (びりじあん)」では
さまざまな体験 教室やイベント、
展示などが1年を通して開催されています。
ぜひ訪ねて みてください。

【抹茶体験】

茶の湯の世界では、11月の「炉開き」にその年の茶葉を石臼でひき、お茶をたてて客人をもてなします。そのお茶に感動し、より気軽に楽しんでもらいたいと店主が始めた「抹茶体験」。石臼で抹茶をひき、お菓子とともに味わうことができます。臼をひく感触や、立ちのぼる香りも楽しんで。お茶をたてる体験だけでもできます。

◆料金:830円～



三 池地区公民館向い、植物に囲まれてたたずむ古い建物。ここは約20年にわたって営まれる、隠れ家のようなカフェです。店内は、使い込まれたものだけが持つ温かみにあふれ、訪れる人をほっとさせてくれます。

店主はオープン当初から、この店が縁で出会った人たちとさまざまな催しを開いてきました。「大牟田には才能あるすてきな方々がたくさんいるんです。その方々の発表の場になれば」と。定期的で開催される体験教室のほか、さまざまな催しを通じて四季折々の楽しみ方を提案しています。Instagramをチェックして体験教室を予約してみるのもいいし、まずはふらっと立ち寄ってお茶を楽しむのもおすすめです。

【三池初市 クラフトストリート】

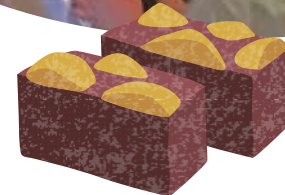
江戸時代から始まったといわれる三池初市(毎年3月1日・2日に開催)。400mにおよぶ歩行者天国に露店が並び、多くの買い物客でにぎわっています。初市のメインストリート沿いにある「びりじあん」にはハンドメイド作家が集結。雑貨やお菓子などを販売する「クラフトストリート」がカフェ敷地内で開かれ、初市に華を添えています。



【吉蔵さんの和菓子教室】

講師は大牟田駅近くに店を構える老舗和菓子店「吉蔵」の店主。一般の人もそろえられる材料で、ようかんや練り切りなど、季節に合わせた和菓子を作ります。リピーターも多い人気の教室。

◆料金:3,500円(材料費込み、お茶・お持ち帰り付き)



【つくもさんの珈琲CLUB】

焙煎豆店を営む焙煎士のつくもさんによる、おいしい淹れ方や豆についてなど。ちょっと珍しいコーヒーの飲み方を紹介してくれることも。コーヒーのあれこれを聞きながら至福の一杯を味わって。

◆料金:1,500円(飲み物・お菓子付き)



【ステンドグラス・ビーズ教室】

作家さんによるものづくり教室が定期的に行われています。ステンドグラスやビーズアクセサリーをおしゃべりしながら作ってみては。

料金:2,000円～(材料費込み、お茶・お菓子付き)



場所はココ

Gallery Café Viridian (ギャラリーカフェ びりじあん)

場所/大牟田市歴木377-2
☎/0944-56-4788
Instagram/@viridian4tea(#びりじあん)

◆各体験教室は予約が必要です。まずは電話で確認を。
詳しい情報は「びりじあん」のInstagramをチェック。

楽しく、おいしく学べる
お寿司のあれこれ



地域ではもちろん、遠方のファンも多い名店「寿司好(すしよし)」。大将の三浦好生さんは「寿司を握るよりお客様と話すのが好き」と照れ笑いされますが、魚の目利きと技は天下一品。厳選した魚介を丁寧に下ごしらえし、繊細に仕上げられた握り寿司は絶品です。

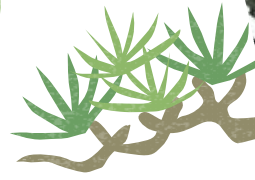
今回のプログラムは「寿司店に行ってみたくて気後れてなかなか…」という人にもおすすめ。寿司店でのマナーやきれいに見える食べ方など、知っているようになる寿司にまつわるあれこれを、女将がクイズにして出題。そうだったのか!と目からウロコな話がたくさんあるはず。その後は大将の指導のもと、握り寿司作りに挑戦。できあがった寿司は、茶わん蒸しとお吸い物、デザート付きで楽しめます。クイズで覚えたマナーや所作を実践してみましょう。“回らない寿司店デビュー”のきっかけにいかがですか?



知って・作って楽しむお寿司

場所/寿司好(大牟田市白金町534)
日程/通年
所要時間/90分程度 ※基本的に11:30~14:00の間
料金/5,000円
定員/8人(最少催行人員2人)
対象/中学生以上
予約/1週間前まで
※キャンセルの場合、料金の100%の支払いが発生します
詳細・申し込み/☎0944-51-8008

料亭の日本庭園で
和の世界を堪能



知らずい自分に会えるかも!?



創業70余年の老舗料亭、新みなとの古式ゆかしい日本庭園で、和装に着替えて写真撮影をしませんか。色とりどりの着物と帯、小物から好きなものを選んで“やまとなでしこ”に変身!男性用の和服もあるのでぜひトライしてみてください。

本格手打ちそばが堪能できるのも楽しみのひとつ。外二(そとに)と呼ばれる製法で打ち上げられたそばはのどごし抜群!材料をすべて国産にこだわった自慢のついでいただけます。旬の素材を活かしたサクサクの天ぷらとあわせて堪能しましょう。和の世界を存分に楽しむひとときを。



着物衣装撮影(食事付き)

場所/新みなと(大牟田市本町3-2-9)
日程/通年(火曜、お盆期間、年末年始を除く)
所要時間/2時間程度
料金/10,000円(衣装レンタル・セルフフォト・食事)
※キャンセル料は予約時点で100%
定員/20人(最少催行人員4人)
予約/1週間前の16:00まで
詳細・申し込み/☎0944-54-3710

夜の 大牟田まち歩き

個性豊かな飲食店がにぎわう「夜の顔」も、ぜひ知っていただきたい大牟田の魅力。夕食を楽しんだら、昭和レトロ感漂うスナックを訪ねてみては？



女性に訪れてほしい！ スナックのすすめ

【体験してみて！大牟田の“飲み文化”】

炭鉱のまちとして栄えた大牟田。一日の終わりに仕事の疲れを癒やす酒場は社交の場でもあり、大変なにぎわいを見せました。今も大牟田の“飲み文化”は健在。気の合う仲間と飲み語り、ハシゴ酒の最後はいつものスナックへ…という女性も多いのです。

【スナックってどんなところ？】

お店のスタイルはさまざまですが、スナックはママの人柄が作り出すアットホームな雰囲気や、どこか懐かしい空気が何よりの魅力。お店の人とカウンター越しに接するので距離感が近く、温かいもてなしに会話も弾みます。居心地の良さについてお酒が進んじゃうかも。飲み過ぎにはご注意ください。

「こころみみず」を見本と振るといいことあるかも！
※女性限定です

大牟田スナック女子推し 初めてでも安心 おすすめの3店をご紹介します

凛

グループでの利用も可能な50席の広い店内。笑顔がすてきなママが切り盛りするお店のモットーは「心の健康づくり」。ママに悩みを話して元気をチャージしに来る女性も多いとか。

大牟田市中島町1-23 プラザビル302
☎0944-55-5020



ヴィーナス

ドアを開ければいつも明るい声で迎えてくれる親しみやすさが魅力。時にはママやスタッフも一緒に“女子会”になることも!? こまやかな心配りと丁寧な接客もうれしいお店。

大牟田市中島町3-3 2F
☎0944-57-2875



ビギン

気の置けないおしゃべりを楽しみに、あるいは人生相談に、多くの女性が訪れます。チャーミングで包容力パツグンのママは旅行好きの一面も。おすすめの旅を聞いてみては。

大牟田市本町1-4-4
☎0944-56-9973

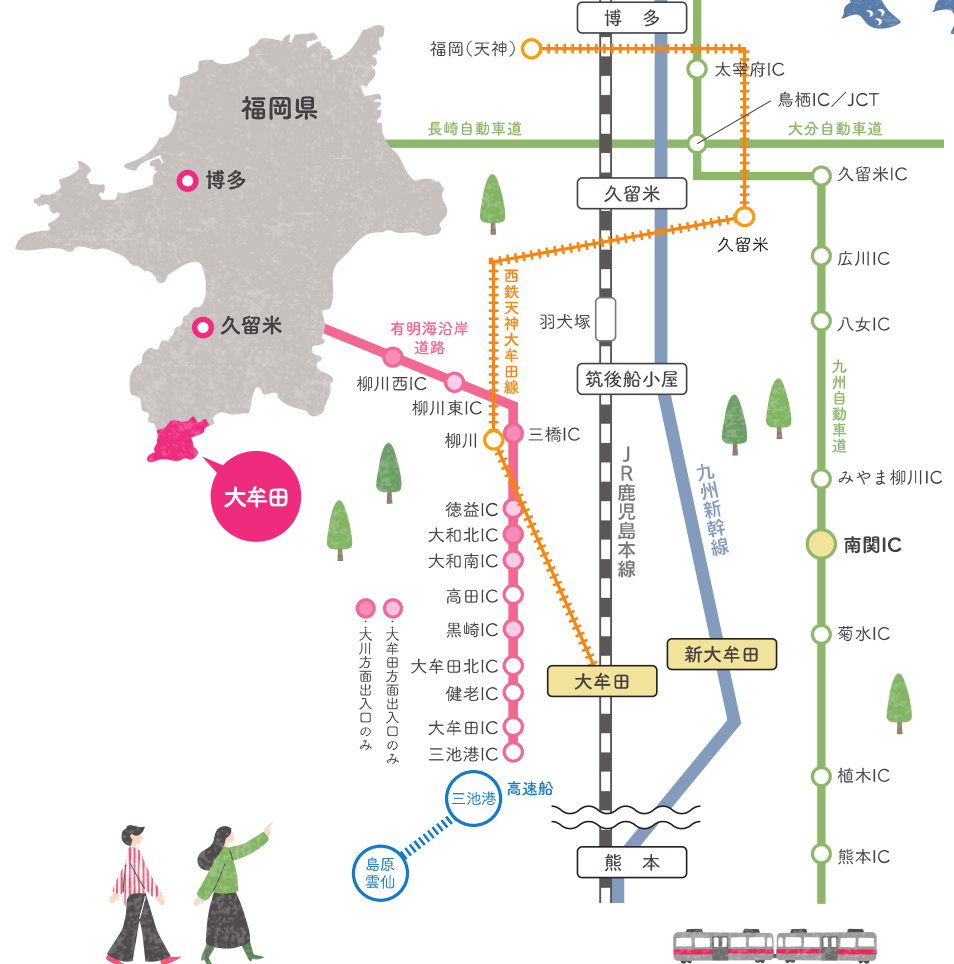


宿泊予約も
忘れずに

大牟田市内の宿情報・観光情報はこちらから！
大牟田市公式観光サイト「おおむた One plate」



〈大牟田へのアクセス〉



ご予約・お申し込みについて

体験プログラムのご予約・お申し込みは、各ページに記載された予約期限や方法に沿って主催者に直接ご連絡ください。

【以下の情報をお伝えいただくとスムーズです】

- ① 利用したい体験プログラム ② 代表者の氏名・年齢・直接連絡が取れる電話番号
- ③ 同行者がいる場合は同行者の氏名・年齢

※開始時間の表記がないプログラムはご予約の際に主催者と相談して時間を設定してください。

【料金のお支払いについて】

お支払いは原則、現金のみとなっております。あらかじめご了承ください。
※料金のお支払い方法やキャンセル料などは主催者ごとに異なりますので、直接ご確認ください。

【個人情報の取り扱いについて】

お申し込みの際にいただいた個人情報は、お客さまのご連絡以外には使用いたしません。